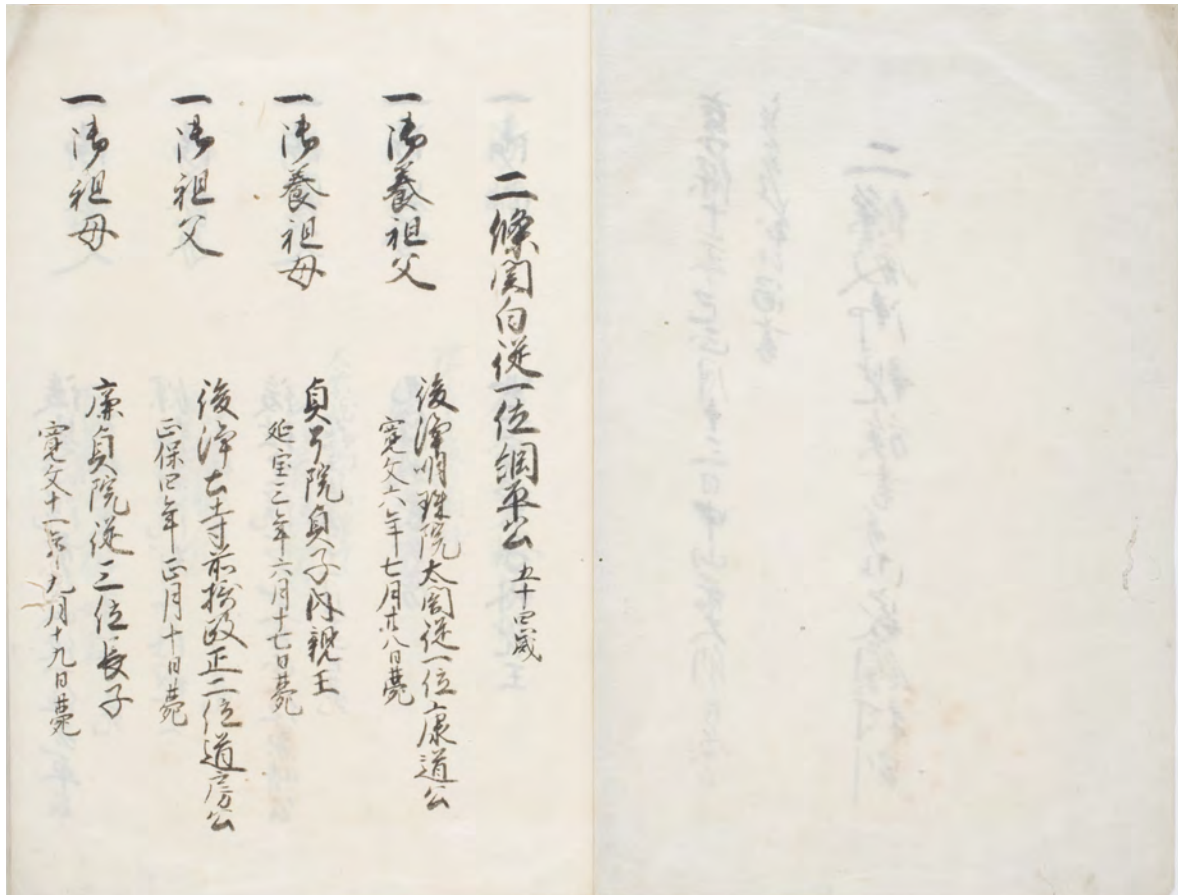


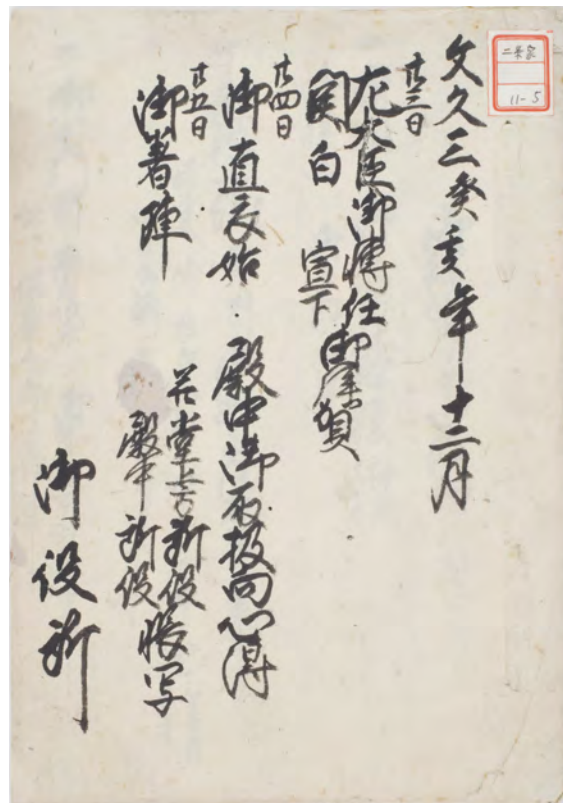
京都教育大学所蔵二条家文書目録

二〇一六年三月

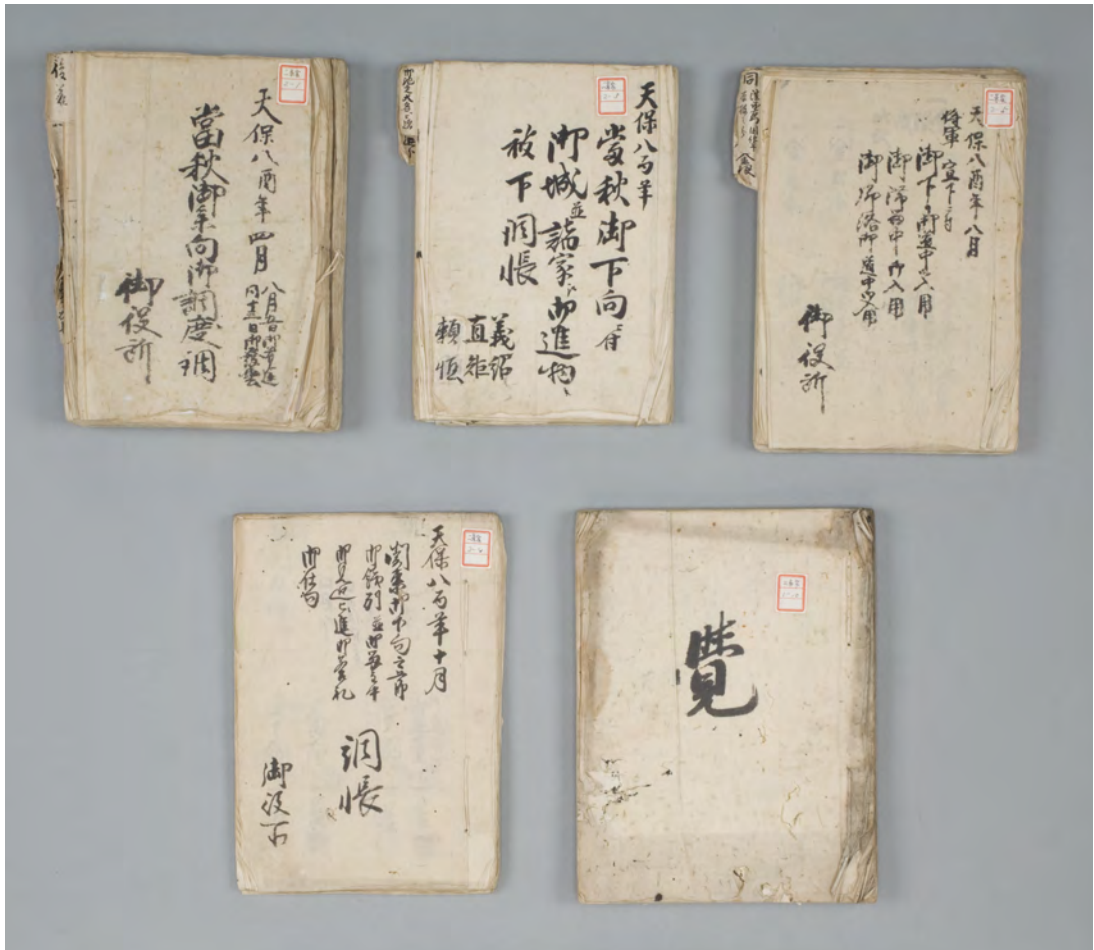
京都教育大学教育資料館



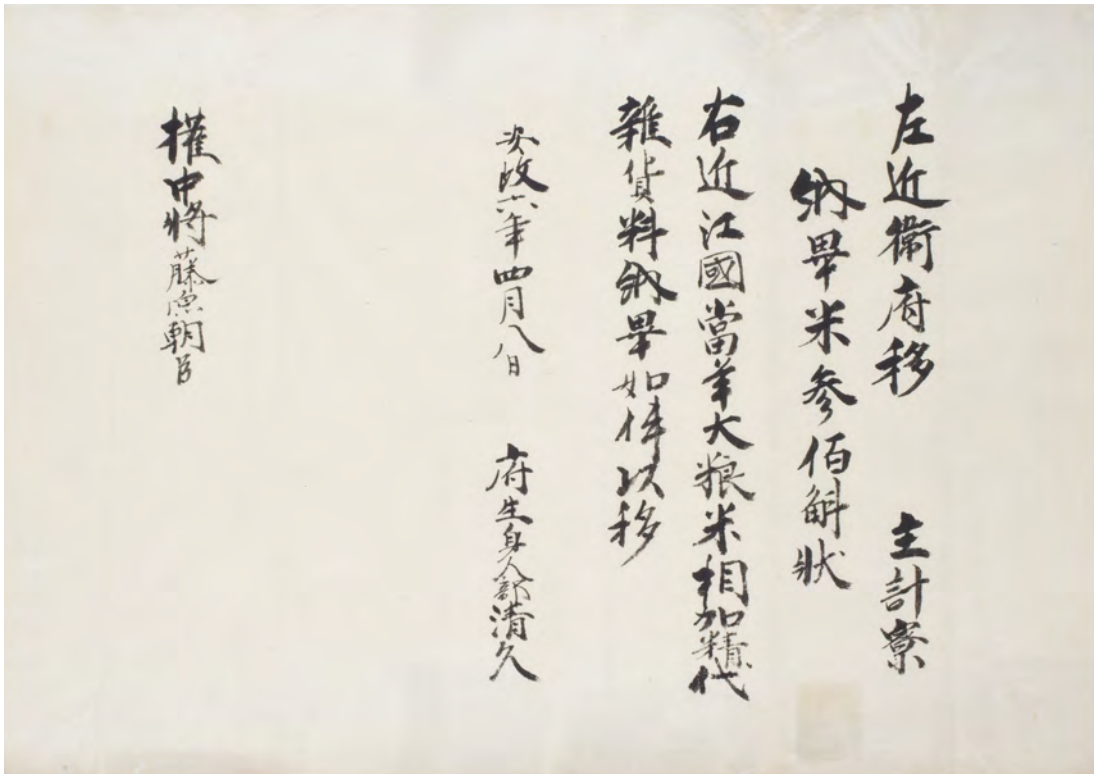
親族・家領注進状留書 享保 10 年 (1725)



殿中取扱向心得并堂上方所役・殿中所役帳写
文久 3 年 (1863)



二条齐信江戸下向諸帳 天保8年（1837）



左近衛府移（参考） 安政6年（1859）

寛延二年

緋之楯日記
已正月

一 正月 晴
一 二月 晴
一 三月 晴
一 四月 晴
一 五月 晴
一 六月 晴
一 七月 晴
一 八月 晴
一 九月 晴
一 十月 晴
一 十一月 晴
一 十二月 晴
一 正月 晴
一 二月 晴
一 三月 晴
一 四月 晴
一 五月 晴
一 六月 晴
一 七月 晴
一 八月 晴
一 九月 晴
一 十月 晴
一 十一月 晴
一 十二月 晴

図版

凡例

目録

一 家職・家族

1 朝儀・公事

(1) 関白

(2) 公文

(3) 大原野社修復

2 將軍宣下

(1) 徳川家慶―二条斉信下向―

(2) 徳川家定

(3) 徳川家茂―二条斉敬下向―

3 進物

(1) 年玉献上

(2) 関東年頭進物

4 書状・日次・詩歌

(1) 書状留書

(2) 注進状留書

(3) 日次記

(4) 詩歌

5 縁組

(1) 隆子(彰君)

(2) 保子(脩君)

(3) 最子(方君・光君)

(4) 広子(岸君)

6 入寺

(1) 利子(恒君)

(2) 義賢(棟君)

二 家政

1 日記・給禄

(1) 日記

(2) 女中給録

(3) 給録・扶持米

2 年中行事

(1) 餅搗

(2) 煤払

(3) 供膳

3 金銀出納帳

(1) 借財

(2) 金銀請取

(3) 借入・下金

(4) 金銭支払

4 物品出納帳

(1) 蠟燭炭等勘定帳

(2) 入用帳

(3) 買上物帳

(4) 米出納帳

(5) 到来物

5 合印鑑請取帳

(1) 卯年度

(2) 嘉永七年度

(3) 安政二年度

三 所領

1 年貢勘定帳

(1) 寛政九年度

(2) 寛政十二年度

(3) 享和二年度

(4) 享和三年度

(5) 文化四年度

(6) 文政九年度

8

8

8

7

7

6

6

6

6

5

4

4

3

3

2

1

1

1

8

9

9

9

9

10

10

10

10

11

11

11

12

12

13

13

13

13

13

13

14

14

15

15

16

16

16

18

21

23

25

27

(7)	弘化三年度	29
(8)	嘉永三年度	32
(9)	嘉永六年度	33
(10)	安政六年度	34
(11)	文久三年度	35
(12)	慶応元年度	36
(13)	慶応三年度	38
(14)	明治元年度	41
(15)	明治二年度	43
(16)	明治三年度	45
(17)	年不詳	48
2 年貢収納			
(1)	収納割判帳	48
(2)	収納調帳	49
(3)	皆済目録	49
(4)	年貢雑帳	50
3 普請・山役			
(1)	加茂川堤水除普請仕用帳	東九条村	50
(2)	中池普請帳	中之庄村	51
(3)	土砂留手入箇所下書帳	山中村	51
(4)	山役帳	細川下村	52
4 物成帳・名寄帳			
(1)	文久元年度	53
(2)	嘉永三年度	54
(3)	明治二年度	54
(4)	明治三年度	54
(5)	明治四年度	54
5 宗旨人別改帳・戸籍			
(1)	大和国中之庄村	56
(2)	近江国山中村	57
(3)	近江国見世村	58

(4)	丹波国細川下村	58
(5)	丹波国田尻村	59
(6)	丹波国細川上村	59
(7)	丹波国細川瀧村	59
(8)	丹波国細川中村	60
6 達書・願書			
(1)	達書	60
(2)	願書・届書	60
(3)	御救人救附帳	62
四 西七条村文書			
1 触書・布告			
(1)	触書	63
(2)	達書	66
(3)	布告	66
2 願書・届書			
(1)	土地	66
(2)	各種届書	67
3 京都宮津間車道工事			
(1)	潰地調	68
(2)	絵図	68
概要			
漢詩文集訓注			
.....			75

凡例

一、本目録は、京都教育大学教育資料館が所蔵する撰家二条家の旧蔵文書（以下、二条家文書）について、その内容を紹介するものである。各文書に関し、記号（整理番号）・形状・年紀・上書・差出・宛所を示し、おおむね内容を家職・家族、家政、所領、西七条村文書の四種に分類して配列した。

一、本目録の作成は、沖花彰（理学科教授・教育資料館長）の指導のもと、吉江崇（社会科学科准教授・教育資料館次長）が中心となつて行つた。作成にあつては、谷口匡（国文学科教授）・岡田直樹（美術科教授）・高正樹（附属高等学校教諭）が協力し、古原朋子（教育資料館非常勤職員）が補佐した。文書の整理作業においては、京都教育大学の学生・大学院生が助力した。

一、巻末には、二条家文書の概要と二条家文書に含まれる漢詩文集の訓注を掲載し、それぞれ吉江崇と谷口匡が執筆した。

一、本目録を作成するにあたり、下記の各機関及び各位に多大な協力を得た。記して謝意を示したい。（五十音順・敬称略）

慶應義塾大学文学部古文書室 慶應義塾大学三田メディアセンター

同志社大学歴史資料館

倉持 隆 重田麻紀 高久嶺之介 西山 克

浜中邦弘 福田千鶴 安国良一 柳田利夫

一、本目録は、京都教育大学・平成二十七年教育研究改革・改善プロジェクト「教材化を視野に入れた京都教育大学所蔵二条家文書の整理と目録作成」（代表・吉江崇）の成果の一部である。